

エキサイトよこはま 22



横浜駅

平成21年12月
横浜駅周辺大改造 計画づくり委員会

エキサイトよこはま22 ～創造的大改革へ向けて～

横浜は、1859年6月の開港により、日本の表玄関となり、世界の文化が流入する窓口として、飛躍的な発展を遂げました。開港による貿易と生産の拠点として発展した後、戦後の接収と戦後復興の拠点、高度成長期の住宅地と京浜臨海部の拡大など、横浜は国家の危機や大転換期において、日本の国家戦略を先導的に展開する都市としての役割を果たしてきました。また、横浜は、企業家精神と自由を尊重する開放的な風土や企業・居住者・来街者へ良質で特徴的な空間を提供することで、都市としてのブランド力を持ち、多くの人や企業を惹き付けてきました。

開港から150周年の大きな節目を迎えた横浜が、今後も日本の首都圏機能を維持、強化する役割を担い、独自の魅力を発揮し、世界の中で確固たる「横浜ブランド」を確立し、日本を代表する都市として、持続的に発展できる環境を実現するために、本計画は20年後の横浜駅周辺の将来像を見据え、その実現に向けたさまざまな取組みをとりまとめています。

「エキサイトよこはま22」は、一般公募により選ばれた計画名です。市民、事業者、商業者、訪れる方などまちに関わる全ての人が、横浜らしい印象的な景観、快適な空間、国際的な交流や、安全安心で賑わいにあふれた活気により、わくわくドキドキするまちを体現するまちづくり計画を、象徴する名称です。

エキサイトよこはま22 3編の役割・構成

本計画は、「まちづくりビジョン」「**基盤整備の基本方針**」「**まちづくりガイドライン**」の3編から構成します。

「**まちづくりビジョン**」は、「まちの将来像」と、その実現に向けた「まちづくり戦略」や「まちづくりの進め方」の基本的な考え方を示すものとして、長期に渡り、民間と行政が共有していきます。

「**基盤整備の基本方針**」は、まちづくりビジョンにおける「まちの将来像」の実現に向けて重要となる基盤整備について、具体の整備を進めていくための基本的な方針を示します。

「**まちづくりガイドライン**」は、民間と行政が連携・協働して地区の魅力向上を図るため、骨格となる空間や主要なネットワーク形成に向けた、まちづくりの取組みの基本方針・基準、その実現に向けたルール整備等に関する基本的な考え方を示します。

また、「**基盤整備の基本方針**」や「**まちづくりガイドライン**」は、まちづくりの進捗やその時代の考え方に応じて、進化・発展していくものです。

■エキサイトよこはま22 とりまとめの構成

